

## 株式会社西武百貨店 再建計画の進捗について

03年1月14日に「私的整理に関するガイドライン」に基づく「再建計画」を各債権者様に要請し、同年2月26日に「再建計画」にご同意をいただいた「再建計画」の進捗状況と、昨日の取締役会で決定いたしました「つかしん店」の閉鎖について報告いたします。

### 1. 「つかしん店」閉鎖について

この度、株式会社西武百貨店は尼崎市の「つかしん店」について、グンゼ株式会社様・グンゼ開発株式会社様と協議の結果、本年5月9日をもって閉鎖することといたしました。

「つかしん店」は、1985年9月にセゾングループによる大規模な街づくり事業「つかしんSC」のキーテナントとして営業を開始いたしました。ピーク時の90年には570万人の来街者を記録、「つかしん店」としても同年の売上は過去最大の280億円となりました。他方、経営面では開店以来経常赤字が続き、90年には「つかしん店」の小売事業と「つかしんSC」のデベロッパー事業を分離させ、各々が専業者として事業展開を図り利益改善を目指す目的で、デベロッパー事業を担う会社として株式会社西洋ランドシステムズを設立いたしました。

その後、「つかしん店」の黒字化へ向けた賃料の減額等、店舗オペレーション経費の削減に加え、営業面では00年に食品・婦人服等の改装を実施いたしました。直近では、02年9月に営業面積を大幅に縮小(8,260㎡)し、ファッション中心の商品領域に特化した業態転換を行い、営業効率の向上につとめてまいりました。しかしながら、競合間競争が一層厳しくなる中、90年をピークに来店者並びに売上低下を止めるには至らず、且つ赤字からの脱却を行うこともできませんでした。

03年2月に、当社が私的整理のガイドラインに基づく再建計画を進めるにあたり、グンゼ株式会社様・グンゼ開発株式会社様と協議を続けてまいりましたが、この度「つかしん店」の閉鎖をする事で基本合意いたしました。

今後はグンゼ株式会社様・グンゼ開発株式会社様が新しい街作りのデベロッパー事業に取り組むことになりましたので、当社は街の運営管理をグンゼグループ様に引き継ぐことにより「つかしん事業」から完全に撤退いたします。

尚、株式会社西武百貨店の不採算店の閉鎖については、これをもって全て終了いたしました。

### 2. 再建計画の進捗について

私的整理に関するガイドラインに基づく再建計画(03年~05年度)につきましては、04年度には、債務超過を脱し、抜本的に財務構造の改善をする計画であります。過去の負の遺産の課題処理が前倒しで順調に進んでおります。

再建計画の具体的な進捗は、以下の通りとなります。

- 1) 不採算店舗の閉鎖につきましては、02年12月に2店舗(宇都宮店・高知店)に加えて、03年8月に4店舗(函館店・仙台店・川崎店、豊橋店)の営業を終了し、04年5月に「つかしん店」の営業を終了いたします。
- 2) 要員構造の是正につきましては、店舗閉鎖及び早期退職等を行った結果、02年~03年度で2,400名と再建計画に対して、前倒しで要員削減ができました。

一方、03年6月には、株式会社ミレニアムリテイリング発足により、当社の本部機能が集約化されたことで、本部社員の要員の是正と、店舗間接部門の要員適正化を行いました。更に、営業力・サービス力の修復にむけ、組織運営の要となる「係長」及び顧客接点の高い「お得意様セールス」「コンシェルジュ」や「トレーナー」の新たな配置基準をつくり、意欲のある若手・女性社員を積極的に登用することにより、店頭強化の為の適正要員・再配置を行いました。

3) 関連会社の整理につきましては、13社中11社が終了し、今後2社についても計画を前倒しで進めてまいります。

売却については、6社中5社が終了、残りの朝日食品工業株式会社につきましては、04年上期までには結論を出してまいります。

整理終了～株式会社大沢商会、株式会社エフ、株式会社エルビス、株式会社セゾンコーポレーション 株式会社セゾンネットワーク、株式会社エスアンドエー、株式会社ミレニアム企画 株式会社BSA、株式会社ピサ、株式会社松木屋、株式会社キャリアオン 今後整理～株式会社西洋ランドシステム（05年清算予定を04年度上期営業譲渡後整理） 株式会社ファミリー西武（06年整理予定を05年度予定）
売却終了～株式会社ポロラルフローレンジャパン、株式会社リパティージャパン、株式会社ファブリカ 株式会社イルムスジャパン、朝日工業株式会社 今後売却～朝日食品工業株式会社（04年度上期予定）

#### 4) 非営業資産の処分

有価証券については上場21銘柄の内18銘柄の処分を進め、非上場銘柄については、再建計画外の銘柄を含めて60銘柄を対象に随時計画処分を行い、既に三分の一が終了しております。

不要不動産の処理は、06年までの計画であります。計画を前倒しし、全34物件の内大型物件を中心に13物件の処分を完了いたしました。

不要不動産売却済み物件 朝霞物流センター跡地物件、京成千葉物件、豊橋店跡地物件等
---

これをもって、不採算店の閉鎖は全て完了いたしました。尚、店舗事業以外の不採算事業につきましても全て終了しております。

### 3.03 年度決算見込みについて

再建計画の初年度といたしましては、店舗の閉鎖・要員構造の是正に加えて、株式会社そごうとの統合効果により販売管理費の大幅な削減（前年比80%）を実現し、営業利益は12月末時点で、中間決算時にご報告した185億円の達成が確実となりました。これは再建計画の05年度とほぼ同額、再建計画に対しては2年前倒し、経常利益は130億円の見込みで、再建計画に対して1年前倒しとなります。

	04年2月期見込み		<ご参考>再建計画		
	今期予想	対前年	04年度2月期	05年度2月期	06年度2月期
総売上高	5,235億円	87.4%	5,463億円	5,160億円	5,068億円
営業利益高	185億円	+88億円	133億円	165億円	184億円
営業利益率	3.5%	+1.9%	2.4%	3.2%	3.6%
経常利益高	130億円	+80億円	99億円	130億円	148億円

決算見込みは中間決算発表時(03年10月22日)の数値

04年度に向けては、営業力の早期修復を図る為に、個々の販売員の販売力向上に加えて、多様化する顧客ニーズに応えるべく、複合商業施設への業態革新をともなった、リニューアルを実施いたします。更に、株式会社そごうとの戦略の共有化をより深めて、顧客価値を創造し、収益改善に努めることで、再建計画を強固なものとしてまいります。

以上

<お問い合わせ先> (株)西武百貨店、(株)ミレニアムリテイリング 広報室 TEL03-6213-7135
--